

M プレーの話とかしないよな。試合中もあまり話さないし。

F 言葉よりやりながらって感じですね。

M 顔とかみて「あ、ここだったのか」みたいな感じで(笑)。

F 言葉を超えているところはあるかもしれないね。

巻は駒大の中で多分一番うまくなった選手だと思う

—お互いの成長した面は？

F 巻は本当に成長したと思いますよ。駒大の中で多分、一番うまくなった選手だと思います。それくらい大学に来て良かった選手だと思います。プレーの幅が一年の頃から比べて全然広がったし、ボールが前線です。

—お互いの成長した面は？

F 巻は本当に成長したと思いますよ。駒大の中で多分、一番うまくなった選手だと思います。それくらい大学に来て良かった選手だと思います。プレーの幅が一年の頃から比べて全然広がったし、ボールが前線です。

M 深井は精神的に強くなったと思います。

F そうだね(笑)。

M 昔は負けていたら逆転するとかいう力はなくて、今では困った時は「深井が点とって！」みたいな感じですからね。

F そんなことないって。

M プレーでもうまくいかなかったも、今ではハーフタイムとかで気持ちを切りかえて仕事しますからね。昔は悪かったら悪かったでそのまま試合終了でしたからね。その辺が俺は本当に変わったと思います。

—では、今年の話に移りましょう。今年は駒大初のリーグ優勝を達成しました。凄いいことをしたんだという実感はありますか？

F 本当に嬉しかったですけど、やっぱり「凄いいことしたんだ」ておもしろいのは自分がOBになって、このメンバーが集まった時じゃないですか。今はそこまで実感はありませんね。

M 僕は正直、よくこのメンバーで



「何でそこまで戦えるの?」、そう思うほど彼のプレーには気迫が感じられる。その必死さが、人に感動をあたえ奇跡を呼び起こす

間、駒大でサッカーをやってきた一番弱いというわけじゃないですけど強いチームで優勝できて、やっぱり「やり続けること、あきらめないこと」がいかに大切なのか学びました。4年生中心に技術よりも気持ちで優勝したって感じですね。今年、とりこぼしが少なかったのはそういう面なんじゃないですか? F あったよ、亜大戦(※4)とか。 M まあ、大事なところはおさえたから。 F 優勝が劇的になったのもあそこら辺の負けがあったからじゃない(笑)。 M ちゃんと調整してね(笑)。でも、東学戦の負けはあそこで負けて逆によかったよね(※5)。あれで、「やるしかない!」って感じになったからね。 F あれで普通にコケてない。 M 国士大戦、筑波大戦どっちもコケてたよ。 —劇的といえば得点王もW受賞ですね? F 本当にたまたまですよ。

リーグ優勝はあきらめないことがいかに大切か学びました

よね。でも、2人とも取りにいて12得点しか取れなかったって感じですね(笑)。最終節の筑波戦なんて食欲に取りにいったんですけどね、バーとかにあたってちゃって(笑)。「単独」得点王とか狙ってたでしょう? F 狙ってた(笑)。 M でもそこら辺がよかったと思う。お互い、取ったらそれ以上取ってやるみたいな気持ちでいたから。 F でも、前期から意識してたよね。もう巻、8点かよって(笑)。 M 俺は今年はいけるかなって(笑)。でも、後期深井が追いついてきた時はもっと取らなきゃと思いましたがね。それで、最終節、取りにいったんですけど取れませんでしたね(笑)。 **インカレの国士大戦の悔しさは忘れられませんね** —インカレは残念な結果に終わってしまいましたか? F 負けたときは正直辛かったですね。これで大学サッカー終わりのなかつた。でも、あの試合は俺的には駒大らしい凄いいサッカーが出来たと思います。あきらめ

ない姿勢も出せましたし。結果がついてこなかったのが残念ですけど。 M 俺は自分が最後の国士大戦で何も出来なかったの(※6)これを大学サッカーの最後にしたくなかったですね。大学サッカーの中で一番悔いの残った試合でした。あの悔しさは忘れないと思いますよ。 —インカレの敗退と同時に大学サッカーは終わってしまいましたか、自分たちにとつての大学サッカーとは? M 俺は自分を成長させてくれた場所だと思っています。 F 終わりが近づくにつれて感じてたことはこういう素晴らしいチームメイ、スタツフ、応援してくれる人と大好きな奴等ばかりの集まりでサッカーが出来たことを幸せに感じていましたね。まだまだ、やってみたいと最近思っています。



「今年のチームは決して強くなかった。だが、4年生(写真)を中心に気持ちの面で初のリーグ優勝を勝ちとった」と巻は言う

—これからはプロでプレーするわけですが、不安はありますか? M 俺は不安というよりも楽しみ。わくわく感のほうが強いです。深井は不安ですか? F 俺は超不安(笑)。環境が変わるこ



ジュビロ戦、深井はあの王者ジュビロから2得点を奪った。今年もその再現を...

—進路の決め手は? M 決め手ですか? 市原しかなかったかな(笑)。チームが安定していて、自分のプレーがあつてそう気がしたんで、僕は市原と市原に。 —市原には先輩がたくさんいますよね(大津高校出身の榎野亮選手、駒大出身の小林久晃選手、金位漫選手)?それは決め手にならなかったんですか? M それもありましたね。環境にすんなり入っていきけるというのは大事な要素です。後は崔龍洙選手とかいい選手がいるのもちよつとありますね。少しでも勉強して吸収できるものは吸収したいですね。 F 俺は最後まで柏と迷って、周りの人は巻ですけど「なんで鹿島行かないの?」って言われていて、最終的にいろいろ考えて鹿島に決めました。代表とかサッカーだけを考えたら鹿島ほどいい環境はないんですけど、僕は昔から葦崎とか駒大とかで敵かったり、遠回りしてきたいい結果が残ってきたんで今回も遠回り、敵しい道を選んだほうがいいのかなと思います。でも、最終的にはサッカーだけのことを考えて鹿島にしました。 —それぞれのチームの印象は? M 中堅のチームですよ。でも、駒大と似てて頑張るチームってイメージがあつて、僕はやっぱりそういうチームのななな。 F ユニホームは似合わないそうだよな(笑)。 M バカ!俺は何でも似合うんだよ(笑)。 F 俺はとにかく優勝回数が多いかな。